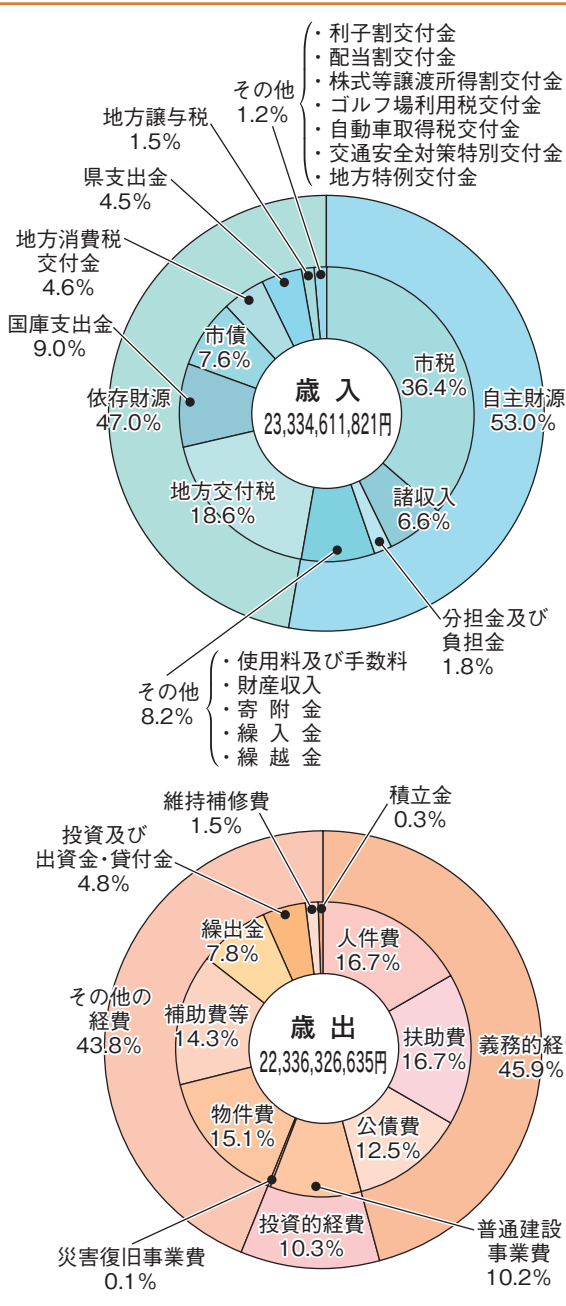


# ちの市議会だより

## 平成30年度9月定例会（決算議会）

決算審査では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを、議会で審査し、改善点の指摘や要望をします。それを市が「今後の予算に活かす」ことにより、決算審査の結果は、今後の予算につながっていきます。

### 平成29年度一般会計歳入及び性質別歳出決算の状況



第27号

2018年11月21日

発行／茅野市議会

編集／議会広報部

〒391-8501

長野県茅野市塚原二丁目6番1号

☎ 0266-72-2101

FAX 0266-73-7936

http://www.city.chino.lg.jp/

WEBで検索

茅野市議会

検索

## 平成29年度 茅野市の決算状況

### 平成29年度茅野市一般会計決算

【歳入決算額】

233億

3,461万円

【歳出決算額】

223億

3,633万円

【実質収支額】

9億

6,080万円

〔前年度に比べて、4億5,175万円、1.9%の減〕

〔前年度に比べて、3億9,302万円、1.7%の減〕

〔黒字決算〕

#### ■歳入歳出決算額の減少理由

・「市民活動センター設置事業」や「デジタル防災行政無線整備事業」が皆減したため。

編集至より………39

常任委員会行政視察報告………38

議会報告・意見交換会、市制60周年………37

議決結果・賛否一覧………36

一般質問通告一覧………35

本会議討論・陳情議決結果………33

委員会の審査………29

目次

# 平成30年9月 定例会のあらまし



茅野市議会9月定例会は、8月29日(水)から9月25日(火)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など33議案が審議され、いずれも原案のとおり同意、可決、認定されました。

また、陳情1件が審議され、一部採択となりました。意見書案は1件が可決されました。

## 委員会における主な議案の審査

### 予算決算委員会

委員長 宮坂 武男

議案第60号  
平成30年度茅野市一般会計  
補正予算(第4号)に  
ついて



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出予算のそれぞれに1億5420万2千円を追加して、歳入歳出予算の総額を252億507万7千円とするもの。

### 主な歳出

・ 諏訪東京理科大学関連事業費で、大学周辺道路の街灯のLED化と新規設置と諏訪広域公立大学事務組合への負担金で7581万9千円の補正増。

・ 西部保健福祉サービスセンター事業費で、サービスセンター西側に新たに駐車場を整備するため、工事請負費5181万9千円の補正増など。

議案第63号  
平成29年度茅野市一般会計  
歳入歳出決算の  
認定について



この議案は、平成29年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

平成29年度の歳入決算額は、23億3461万円。歳出決算額は、223億3633万円。歳入歳出の差し引き残額は、9億9829万円。実質収支額は、9億6080万円の黒字。



予算決算委員会



【討論】

●反対意見

「今の時代一層の公共サービスが求められている。しかし、その対応の多くは臨時や嘱託職員、あるいは低賃金の総合サービスなどに頼っている状況がある。官製ワーキングプアのそしりは、免れないと思っている。また、新しい人事評価も評価によっては、生涯賃金に大きな差が出る可能性がある。職場内の士気やあるいは疑心暗鬼の基になる恐れがある。マイナンバーの件は、毎年システム改修で多額なお金が使われていることも問題。コワーキングスペースの件で行政アドバイザーの会社がコワーキングスペース等に深く関わっている。これは由々しき問題だと思ふ。」

●賛成意見

「233億円のお金を動かす中で、決算審査において色々な角度から質問させていただいたが、その質問に対して的確な正しい回答がされたということ、そして、表記等々に間違いなことを確認したので、賛成。」

総務環境委員会

委員長 北沢 千登勢

議案第47号  
平成30年度茅野市運動公園  
庭球場大規模改修工事の  
請負契約について



この議案は、平成30年度茅野市運動公園庭球場大規模改修工事を行うため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会に議決を求めるもの。



運動公園庭球場 現地視察

問

「平成28年に蓼科湖の棧橋を施工し、今年の冬にその棧橋が職員の強度設計ミスで崩れ落ちた。建設を生業とするプロの業者ならば、設計ミスを事前に見抜かなければならないと思うが、その業者が、総合評価点が満点の15点で落札しているのはなぜか。」

答

「蓼科湖畔の工事は、完成時点では一定の評価を受けていた。また、工事成績評価は3年間の平均点で集計している。今後とも工事評価が適正な点数となるよう、精度の高い評価に努めていく。」

問 「一般競争入札の中で、総合評価方式はどう位置づけされているか。」

答

「総合評価落札方式とは、公共工事品質確保法に基づいて、価格に加えて価格以外の評価点も総合的に評価するもので、全国的に推進している。」

議案第55号

茅野市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する  
条例について



この議案は、茅野市議会議員の選挙における選挙運動用のビラの

作成を公営とするためのもの。

問 「題名を変える場合、一部改正というのは、ありなのか。」

答 「いったん条例を廃止して、新たに条例を設置するという方法もあるが、題名を変える方法もある。」



選挙運動用ビラ イメージ

問 「選挙運動用ビラとは何か。詳しく説明してほしい。」

答 「選挙の告示日前までに、公約を書いたビラに責任者と印刷所を明記して選挙事務局で事前審査を受け、証書を貼ったものを選挙運動用ビラという。配布時期は告示後で、配布方法は新聞の折り込み、候補者の選挙事務所内、個人演説会の会場内、街頭演説会の場所に限られている。」

議案第56号

茅野市金銭物品等の寄附募集に関する条例を廃止する条例について

可決

この議案は、金銭物品等の寄附募集行為に関する届出制度を廃止するためのもの。

**問** 「茅野どんばんや赤十字、協会の寄付募集について、今後一切許可をとる必要がないのか。」  
**答** 「今までは届出制で寄付の募集をしていたが、それがなくなる。」



経済建設委員会

委員長 長田 近夫

議案第46号

財産の処分(売却)について

可決

この議案は、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、丸山工業団地の市有地の一部を処分することについて、議会の議決を求めるもの。売却方法は、一般競争入札。売却価格は、5790万161円。



売却地現地視察

議案第48号

市道路線の認定について(玉川菊沢地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。場所は、玉川菊沢地籍。宅地開発に伴う市道路線の認定。



市道路線認定現地視察(玉川菊沢地籍)

議案第49号

市道路線の認定について(玉川神之原地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。場所は、玉川神之原地籍。宅地開発に伴う市道路線の認定。

議案第50号

市道路線の認定について(玉川長峰地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。場所は、玉川長峰地籍。宅地開発に伴う市道路線の認定。

**問** 「雨水の処理方法について説明を求める。」

**答** 「雨水の処理方法は、河川等の公共水系への放流と地下浸透の方法がある。開発地においては、市道等へ流れないように開発地内の処理を指導している。排水設備については、雨水は河川等の放流する水域が無ければ地下浸透を求めている。」



市道路線認定現地視察(玉川神之原地籍)



議案第51号  
市道路線の認定について  
(玉川長峰地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。場所は玉川長峰地籍。宅地開発に伴う市道路線の認定。



市道路線認定現地視察  
(玉川長峰地籍)

**問** 「造成地の隣接地が広く造成してあったが、どのような取扱いなのか。」

**答** 「開発区域は今回宅地として造成された区域だと認識している。」

議案第58号  
茅野都市計画事業宮川茅野土地  
区画整理事業施行条例を  
廃止する条例について

可決

この議案は、茅野都市計画事業宮川茅野土地区画整理事業が完了したため、廃止するもの。

議案第59号  
茅野市営住宅設置及び管理条例の  
一部を改正する条例について

可決

この議案は、公営住宅法の一部改正に伴い、認知症の同居者等に係る収入申告義務の緩和に関する規定等を整備するもの。

**問** 「寡婦に当たらない、シングルマザー等については検討されたのか。」

**答** 「今回は検討していない。」



福祉教育委員会

委員長 丸茂 岳人

議案第57号  
茅野市家庭的保育事業等の設備  
及び運営に関する基準を定める  
条例の一部を改正する  
条例について

可決

この議案は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、代替保育に係る連携施設の確保義務の緩和に関する規定等を整備するためのもの。

**問** 「茅野市には該当がないということだが、周辺市町村で該当する市町村はあるのか。また、改正することによって、メリットはあるのか。」

**答** 「近隣では諏訪赤十字病院と岡谷病院で事業所内保育事業ということで現在実施しているところがある。メリットとしては、施設型給付費が国から受けられ、事業の安定的な財政支援が確保される。現在の私立保育園や認定こども園同様、施設型給付費を受けながら運営できる。」

**問** 「茅野市にも近い将来これが当てはまる可能性はあるか。」

**答** 「茅野市における将来の見通しについては、みどりが丘保育園の統廃合の検討委員会の中で、市から具体的な提案をしてほしいという意見があった。今回の施設はほとんど未満児対象の施設になるので、待機児童対策とした小規模保育事業を提案している。まだ決定している事項ではないが、ひとつのやり方として、検討している。」

**問** 「諏訪中央病院の中にも病院内の保育所は該当にならないのか。」

**答** 「諏訪中央病院は、認可外保育施設ということで行っている。諏訪中央病院へ制度の説明を行っているが、この制度の施設になると施設の従業員だけでなく、地域の方の受け入れが必要になると、給食の提供が必要になること、また、茅野市の場合条例の中で保育士資格を持っていることが働く者の対象基準であり、諏訪中央病院では現行の認可外保育所で考えていると聞いている。」

**問** 「連携施設の定義は何か。」

**答** 「今までは、連携施設というと保育園、認定こども園、幼稚園の3つしかなかったが、今回の改正によって家庭的保育事業、

小規模保育事業、事業所内保育事業として連携を行う幅が広がると考えてほしい。」

陳情4  
私立高校に対する公費助成を  
お願いする陳情書



一部採択の意見

「公のお金を個人に直接補助するということは思わしくないので項目2を除き、一部採択。」

「学校へ補助して、学校側で保護者の負担を減らすという方が現状は適切だと思うので項目2を抜かして一部採択。」

「保護者にお金を渡すというのは本当に私学に通っている子どもたちのためになるのか疑問に思う。本当に学費等で使われれば結構だが、保護者に渡ったお金はどう使われたかわからない中で、保護者にお金を渡す、お金と言っても税金、それを直接渡すというのはいかかなものかと思うので一部採択。」

採択の意見

「私立高校といえども公教育と違っていている。多くの私学があつて、高校生の勉学を公教育として支えている。公立だけでは長野県の公教育は定員オーバーになるとい

こともあり、茅野市からも大勢の高校生が松本の私学に行つており、項目1は当然として、項目2の保護者負担を軽減するために保護者への直接補助も行つていいと思うので、採択。」

本会議における討論

議案第63号

平成29年度茅野市一般会計  
歳入歳出決算の認定に  
ついて



● 反対討論

「ベルビアにオープンした coworkingスペース『ワークラボ八ヶ岳』は茅野市の行政アドバイザーが勤めている企業が企画を担当し、その企業が入るグループが落札した。自分が計画したものを、自分で落札出来る仕組みが大きな問題であり透明性に欠ける。マイナンバーにおいては、昨年は国の指導により茅野市は、関係する企業・事業所に勤めている人の市県民税の特別徴収税額決定通知書にマイナンバーを付して、送った。マイナンバーを書かなくても法に抵触するものではなく、事務は進められる。企業・事業所は番号管理にかなり神経を使うとともに、シス

テム回収にも多大な経費を要する。この制度は廃止すべき。決算審査の中で、茅野市の公共サービスが非正規職員によって支えられている実態が浮きぼりになった。特に保育園での非正規職員の割合は5割近くになり、その賃金は極めて安く、この改善の手立ては進んでいない。人事評価と給与が連動する仕組みが始まった。人事評価によって職員が5段階に評価され、「特によい」とされた人は給与が4級上がり、悪いとされた人は昇級が遅れる。若い内に昇級した人の生涯賃金は同年齢の人と比べ大幅に増えると言われている。人事評価と賃金を連動させるべきではない。以上のことから反対。」

● 賛成討論

「自治体の決算という視点から考察したが、いずれも認定できない理由に該当するとは認めがたい。自治体決算の認否は、主観やイデオロギーではなく、制度上、社会通念上の客観的合理的な根拠に基づいて検証され、その上で決定すべきものと考えられる。よって、29年度一般会計予算執行の結果である本決算は、今後への課題として多くのことが指摘されたが、認定できないとする客観的合理的理由は見せず、認定が妥当であると判断する。」

平成30年9月定例会 陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情4	私立高校に対する公費助成を お願いする陳情書	2010年度に「就学支援金」制度が改正され、各家庭の教育費負担は軽減されてきているが、私学に通学する場合、公立に比べ、保護者の学費負担はまだ重い。そのため、公費助成を求めるもの。①国・県に対し、就学支援金制度の拡充及び私学助成の増額を求める。②私立高校に通う生徒の保護者負担を軽減するため、保護者へ直接補助を求める。	中信地区私学助成推進協議会	一部採択	一部採択

茅野市の課題を問う!

平成30年9月定例会の一般質問は、9月7日、10日、11日の3日間行われ、15人の議員から24項目についての質問が市側に出されました。

9月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
篠原啓郎	1 空き家と所有者不明の土地について	(1) 空家法の完全施行後の状況と対策について (2) 所有者不明の土地(住宅地、農地、林地)の状況と対応について
	2 行政が行う事業の民営化や委託について	(1) 民営化や事業委託の現状と今後について (2) 委託先の管理監督体制について (3) 係る経費の性質について
北沢千登勢	3 茅野市学童クラブの設備及び運営と指導員の働き方について	(1) 利用する児童数に応じたスペースが確保されているか (2) 学童クラブで使用する教室へのエアコン設置 (3) 保護者の実態に則した指導員の勤務時間の見直し (4) 指導員の賃金体系の見直し
	4 高齢者事故の未然防止策と認知症事故の救済支援について	(1) 運転免許証自主返納者に対する支援制度の実施 (2) MCI(軽度認知障害)検査の導入 (3) 認知症事故の賠償に対する救済支援の検討
矢島正恒	5 大災害に備える地域防災力の充実・強化について	(1) 自主防災組織の更なる機能強化を図る為の、防災リーダーの育成・強化について (2) 災害時における飲料水等確保のための機器対策について (3) 児童・生徒に対する通学途上等の避難場所等の防災教育について
	6 市民のスポーツ振興と2027年第82回国民体育大会(長野県開催)等について	(1) 「市スポーツ振興計画」に基づく生涯スポーツの推進について (2) 2027年第82回国民体育大会の茅野市開催種目について (3) 市民の健康増進を図る身近な運動習慣の推進について
伊藤玲子	7 幼・保・小・中学校における暑さ対策について	(1) この夏の保育環境や学習環境について (2) 現在行っている暑さ対策について (3) 今後実施予定の暑さ対策について (4) 保育室・教室へのエアコン設置について
	8 婚活支援と少子化対策について	(1) 茅野市地域創生総合戦略としての位置づけについて (2) 婚活支援と少子化対策の現状について (3) 婚活支援に関する専門の部署の設置について (4) 市民の結婚・家族形成に関する実態・意識調査の実施について
小尾一郎	9 組合立諏訪中央病院の経営状況と市や市民への医療提供に及ぼす影響について	(1) 諏訪中央病院の決算の推移について (2) 連続赤字決算について (3) 赤字経営が市の財政や政策立案・執行に及ぼす影響について (4) 赤字経営が市民への医療提供に及ぼす影響について (5) 諏訪中央病院に対する市の今後の対応について
松山孝志	10 茅野市運動公園の個別施設における課題と維持管理計画について	(1) 陸上競技場のインフィールドにおける芝生管理について (2) 自由広場の夜間照明設置について (3) 子供の遊び場の活用促進のための整備について (4) ジャブジャブ池の周囲を含めた整備について (5) 運動公園内に設置されているトイレの美化管理方法について (6) 運動公園全体の維持管理計画について
小池賢保	11 自然災害における防災対策について	(1) 市内における自然災害の発生予測と状況の収集及び情報伝達について (2) 「防災ガイドブック」の見直しと活用について (3) 近隣市町村との連携について (4) 防災アセスメントについて (5) 地区防災計画の進捗状況について (6) 防災対策の基本的な施策について



		件 名	要 旨
長田近夫	12	肺炎球菌ワクチン(高齢者)の定期接種について	(1) 茅野市のワクチン接種率について (2) ワクチン接種による医療費削減の試算について (3) 接種できなかった人の救済措置について
	13	小・中学校、運動公園等における防犯カメラ等の設置について	(1) 防犯カメラ等の設置状況について (2) 運動公園、学校周辺の外灯について (3) 運動公園、学校周辺の防犯カメラの設置について
丸茂岳人	14	地域コミュニティの将来について	(1) 行政区の将来像について (2) 市と行政区の関わり方について (3) 入区者を増やすための取組について (4) 別荘地における地域コミュニティの現状と将来について (5) 地域が社会的役割を維持するために何をすべきか
両角秀喜	15	地域の子育て支援のあり方について	(1) 子ども会育成会の活動について (2) 学童クラブの取組について (3) 今後の地域の子育て支援について
	16	保育園への防災頭巾配布の取組について	(1) 防災頭巾の配布先を公立保育園に限定した理由について (2) 「子どもの命を守る」という面から公平性をどう立証するか
伊藤勝	17	学校給食等に関わる食育と労務管理について	(1) 食育の取組について (2) 調理員の現状について (3) 栄養士の待遇について (4) 栄養士、調理員の処遇について、どの様に改善を図るのか (5) 地産地消の取組について
	18	蓼科ダム跡地の今後について	(1) 蓼科ダム跡地の現状について (2) 今後の方向性について
樋口敏之	19	グローバル時代に対応した行政の考え方について	(1) 経済・文化・教育などのグローバル化の考え方について (2) 来訪する要人の受け入れ体制について
小松一平	20	市民の個人情報等のセキュリティ対策について	(1) 個人情報のセキュリティ対策について (2) 行政の内部情報セキュリティ対策について
	21	茅野市が誇る地下水は適正利用されているか	(1) 茅野市が誇る地下水は適正利用されているか (2) 給水計画区域外の住宅や事業所への上水道利用促進について (3) 自慢の茅野市の水による地域創生について
伊藤正陽	22	難聴者の補聴器をサポートするヒアリンググループ(磁気ループ)導入について	(1) 市内に難聴者はどの位いるか (2) 市内に補聴器保有者はどの位いるか (3) 難聴者にヒアリンググループ(磁気ループ)の事をどう広報してきたか (4) ひと・まちプラザ等建設時を含め、ヒアリンググループ導入に関する検討結果はどうか (5) 難聴者の社会参加を進めるための一助として、ヒアリンググループを導入ができないか
	23	子育て支援の拡充について	(1) 国保加入者で第3子以降の子どもがいる世帯数は (2) 子育て支援の一環で、国保税均等割で第3子以降の子どもの免除制度新設の考えは (3) 昨年度、インフルエンザ罹患で休園または学級閉鎖した小中学校の実態はどうか (4) 子どものいる家庭へのインフルエンザワクチン接種の補助制度の考えは
望月克治	24	子どもの権利を実現する取組について	(1) 子ども憲章の取組について (2) 子ども議会を行うことについて (3) 今年度から小学校で、来年度から中学校で特別の教科として実施される道徳について (4) 子どもの学ぶ権利について (5) 子どもの遊ぶ権利について



### 9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算  
※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	松山 孝志	丸茂 岳人	伊藤 正陽	小尾 一郎	長田 近夫	矢島 正恒	西角 秀喜	小松 一平	伊藤 勝	小池 賢保	樋口 敏之	篠原 啓郎	山岸 正衛	望月 克治	宮坂 武男	北沢千 登勢	伊藤 玲子
44	平成30年度茅野市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	平成30年度茅野市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	茅野市等公平委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	茅野市監査委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	財産の処分(売却)について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	平成30年度茅野市運動公園庭球場大規模改修工事の請負契約について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	市道路線の認定について(玉川菊沢地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	市道路線の認定について(玉川神之原地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	市道路線の認定について(玉川長峰地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	市道路線の認定について(玉川長峰地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	茅野市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	茅野市金銭物品等の寄附募集に関する条例を廃止する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	茅野都市計画事業宮川茅野土地区画整理事業施行条例を廃止する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	茅野市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	平成30年度茅野市一般会計補正予算(第4号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	平成30年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	平成30年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	平成29年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
64	平成29年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	平成29年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	平成29年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	平成29年度茅野市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	平成29年度茅野市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成29年度茅野市米沢鑄物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	平成29年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	平成29年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	1 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告	7 専決処分の報告について																			
	8 債権放棄の報告について																			
	9 平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率について																			
	10 株式会社ヘルビアの経営状況について																			
陳情	4 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	福	一部採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	3 意見書案の提出について(私立高校への公費助成に関する)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議決日は、9月25日の議会最終日(但し、議案第44号、45号、52号、53号、54号、諮問第1号は、8月29日の開会日に即決)

## 議会報告・意見交換会を開催しました

市民の皆様がどのような事に市政の問題点を見ているのか、時にこのような会合を持たせていただき、お聞かせ願うことを目的として開催しております。10月2日に平成30年度第2回議会報告・意見交換会を茅野市役所議会棟にて開催しました。

今回は今までに議会でも問題意識を持ち、条例制定も視野に検討してきていますが、なかなか良い解決策が見当たらず今日に至っている問題に関し、ご意見も伺うことが出来ました。また、議場での議員の発言が良く聞き取れないとの、ご指摘もいただきました。

日常気づけないことや、市政上の問題点について、市民の皆様の声から議員として取り組むことが活動の基本と捉えています。これからも、住み良い茅野市をつくるために、ご参加をお願い致します。いただいた意見等は茅野市ホームページに掲載する予定ですので、ご覧ください。



## 茅野市 市制60周年



平成を締めくくる年に茅野市は、市制60周年を迎えました。茅野市の成り立ちと市の人口、経済、生活風景の変化を拾ってみました。往時を偲んでいただければ幸いです。

その昔茅野の地は、筑摩県第15大区第4小区等に属し66の自然村(集落)が点在した

その後、明治の大合併で行政村9村となり長野県南第15大区第4小区等となる

明治7年  
6村→金沢村

明治7年  
15村→宮川村

明治7年  
9村→玉川村

明治8年  
5村→泉野村

明治7年  
4村→永明村

明治8年  
4村→北山村

明治8年  
9村→湖東村

明治8年  
5村→米沢村

明治8年  
9村→豊平村

明治11年の郡区町村編成法により長野県諏訪郡となり長野県諏訪郡北山村等となる

昭和30年1町8村が合併、町政施行で茅野町発足

昭和23年ちの町

昭和33年市政施行で茅野市発足

長野県茅野市となり 現在は区82、自治会18で構成されている

人口 昭和33年 35,616人 → 平成29年 55,826人 1.6倍  
世帯数 昭和33年 7,816世帯 → 平成29年 22,878世帯 2.9倍

経済(歳入) 昭和33年 2億3,812万円 → 平成29年 233億3,461万円 98倍  
(内市税) 昭和33年 8,836万円 → 平成29年 84億9,632万円 96倍

議員定数 昭和33年30人 → 昭和62年26人 → 平成11年23人 → 平成19年18人

居住風景 昭和33年 炊飯の煙 → 平成30年 暖房の煙  
田園風景 昭和33年 人と牛馬 → 平成30年 人と機械



# 行政視察報告

# 経済建設委員会

**実施日** 平成30年7月23日(月)から7月25日(水)まで

**参加者** 委員長：長田 近夫、副委員長：矢島 正恒  
委員：小尾 一郎、小池 賢保、篠原 啓郎、望月 克治

「道の駅もてぎプラザ」を避難所や防災拠点として活用している現状を視察。栃木県第一号店の道の駅を設置した経緯と防災拠点施設を併設した経緯を聞く。第三セクターによる経営であるが、町長が代表取締役として経営している。町長の情熱と経営力が成功の要因と感じた。

◎茅野市での展開は  
茅野市として、観光政策と防災拠点施設の両面から検討をする必要があると考える。



茂木町 視察

道の駅を避難所や防災拠点として活用について

■栃木県芳賀郡茂木町



日光市 視察

世界的観光地の交通渋滞緩和策、違法駐車削減を図る交通政策。日光市では、ゴールデンウィークと紅葉シーズンの二回「パークアンドライド」政策を実施している。

東照宮観光客の交通渋滞緩和の効果があり、従来の半分位の所要時間で行けるようになった。

◎茅野市での展開は  
御射鹿池付近、八ヶ岳桜平登山道入口付近の駐車場がシーズンになると不足し、路上駐車が原因で交通面に支障をきたしている。パークアンドライドは良い対策と考える。

パークアンドライドの推進について

■栃木県日光市

◎茅野市での展開は  
茅野市での展開は、茅野市も温泉があり、観光地は茅野の方が多い。首都圏からの時間も同じ位であり、中京圏、関西圏からも集客が可能である。地域活性化の一つの方法として、道の駅を検討する事が大事と考える。



さくら市 視察

道の駅「きつれがわ」の取組について

■栃木県さくら市

# 行政視察報告

# 福祉教育委員会

**実施日** 平成30年7月23日(月)から7月25日(水)まで

**参加者** 委員長：丸茂 岳人、副委員長：両角 秀喜  
委員：伊藤 正陽、山岸 正衛、宮坂 武男、伊藤 玲子

## 北海道札幌市 札幌市子どもの貧困対策計画について



札幌市 視察

札幌市では子どもの貧困対策に特化した部署を新設し、取り組みを始めている。子どもの貧困となる様々な原因を体系的に精査し、具体的な対策を講じようとしている。

### ◎茅野市での展開は

子どもの貧困における家庭環境との因果関係を明確にすることで、原因と対策を定義することは大変重要であり最低限の補助をしたところで根本的な解決にはつながらないため、子どもに対する支援と親が気軽に相談できる窓口の設置等制度的な補助だけでは不十分であり、茅野市にあった形を模索していく。

### ■北海道千歳市

### ちとせ学習チャレンジ塾事業について

生活困窮世帯の子どもたちを対象に学習支援事業の一環で取り組んでいる、自主的に学べる場を提供し、学力の向上や、仲間と出合い活動ができる居場所づくりを進めており、大きな成果を上げている。

### ◎茅野市での展開は

「学習支援の場だが、教科の勉強に特化する

るのでなく、子どもが生きる力を養い、自分の夢を自分自身で叶えることを応援する場と位置付けて支援していく」という場所が必要であり現実的にできる対策の検討をしていく。



千歳市 視察

### ■北海道伊達市

### 伊達ウエルシーランド構想について

この事業は高齢化社会を支える行政の先進事例であるときれ、高齢者だけでなくすべての世帯が安全・安心で暮らせるまちづくりを目指すものである。

### ◎茅野市での展開は

事業開始から、20年近い月日が経過し制度疲労もみられるが、コンセプトとして見習うべきところは多々あり、地域性や時代に合った施策の検討を引き続き行って行く必要がある。



伊達市 視察

行政視察報告の詳細は順次ホームページに掲載しますので、ご覧ください。なお、総務環境委員会の行政視察報告は次号に掲載予定です。

## 編集室

大阪北部地震、平成30年7月豪雨、41度を超えた記録的猛暑、台風21号による関西国際空港の孤立、北海道胆振東部地震等多くの災害に見舞われた平成30年も残すところ僅かとなりました。改めて、被災された方々の一日も早い復旧、復興を願うところでありませう。

来年の5月1日からは平成の元号が変わることになります。大化の元号に始まり平成に至るまでに261回も変わっているとのこと、大変驚きました。新元号の発表は来年の2月以降になる予定とのこと、どんな元号になるのか想像する楽しみが増えました。

決算議会とも言われる9月定例会が終了し、議会だより27号の発行となりました。この間、多くの市民の皆様にご覧いただき、ご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。この間、多くの市民の皆様にご覧いただき、ご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。この間、多くの市民の皆様にご覧いただき、ご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。

議会広報部会

山岸 正衛